

Krugle Exchange Conference 第1回

2025 開催のご案内

基調講演 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩 氏
『ミッションクリティカル企業における、AI時代のデータガバナンス』

講演概要： AI は、与えられたデータから、言語化/ドキュメント化、継続的知識の蓄積、確認力を持っており、各組織の貴重・機密なデータを守りながら、自組織の効率化へと向かっています。Private AI、Agent AI、Physical AIと Public AIとの連携・共生を実現しようとしています。

AIの利用にあたっては、データの信憑性を自身の組織内のデータのみならず、連携・共生するシステムであるサプライチェーン・ネットワークでのデータの信憑性を確保しなければなりません。すなわち、①機器/プロダクト、②生産現場、③企業/組織、④サプライチェーン・ネットワークの4つのレベルでのサイバーセキュリティを実現しなければならず、サイバー攻撃に対する自システムのアセスメントの実現が必須となり、ここにもAIの適用が検討されています。

また、システム開発は、従来のWater Fall型から Agile型へと日本でも進化が進行しており、プロトタイプが得意なPython から C/C++などのビジネスコードへの変換、さらには、コードからのドキュメント作成、コードの品質の評価などにおいても AIの可能性が追及されているようです。



1987年東芝入社、総合研究所通信機器研究所入所。1998年東京大学大型計算機センター(現 情報基盤センター)助教授。1999年 アヴァンネットジャパン社外取締役。2001年東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻助教授。2004年IRIコビテック社外取締役。2005年東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻教授。2009年日本データセンター協会 副理事長・運営委員長。2018年アルテリアネットワークス社外取締役。2021年デジタル庁Chief Architect。2022年日本ネットワークインフォメーションセンター理事長。2023年北海道顧問 (再生エネルギー活用促進担当)

✓開催の目的:

日本のレガシーシステムの整備や製造業のAIによる開発効率化は、国家レベルの課題です。クリューグル株式会社は設立から2年が経過し、お陰様でこれらの課題に対しセキュアに機能するKrugleプラットフォームの活用事例やソリューションが増えて参りました。そこで更なる社会貢献を目指し、その導入効果の共有や意見交換を目的にカンファレンスを開催します。今回は定期開催の第1回目となります。

✓開催要項:

日時: 2025年11月14日(金) 14:30~17:50 18:00~懇親会

場所: ビジョンセンター東京虎ノ門 受付6F 会場6F
〒105-0001東京都港区虎ノ門2-4-7 T-LITE(トライト)

<https://www.visioncenter.jp/tokyo/toranomon/access/>

対象: Krugleのお客様および販売パートナー様、Krugleをご検討されているお客様
(主に製造業様、組込み開発ベンダー様、一般企業の情報システム部門様、SI事業者様など)

主催: クリューグル株式会社

協賛: 日本システム開発株式会社 **後援:** BizTech株式会社 (AI Market 運営)

参加方法: Webサイトからの事前登録制、参加費無料

※満席(150席)になり次第、お申し込みを終了させていただきます。

※Webに情報開示のない方、目的にそぐわない方は、お断りする場合がございます。

↓↓ ↓ お申し込みはこちらから ↓ ↓ ↓ お問い合わせはこちらまで ↓ ↓ ↓
<https://www.krugle.co.jp/apply/> minoru.aoki@krugle.co.jp (担当: 青木)



✓当日のタイムスケジュール:

14:00 開場

14:30-15:00 Krugleご挨拶/事業紹介

クリューグル株式会社 代表取締役社長 川北 潤
Archaea AI, Inc. CFO, William Daniher

15:00-15:30 基調講演

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩 氏
「ミッションクリティカル企業におけるAI時代のデータガバナンス」

15:30-16:00 Krugleプラットフォーム紹介/ユーザーグループ案内

クリューグル株式会社 取締役CTO 山口 智之

<休憩>

16:10-17:40 事例およびソリューション紹介

◆株式会社インターネットイニシアティブ (16:10~16:40)

執行役員 システム開発本部長 白崎 博生 氏

「レガシーシステムと向き合う」

IIJのレガシー基幹システムの開発環境における、AI活用方法とツールについてお話しします。

◆富士ソフト株式会社 (16:40~17:05)

生成AI部 部長 河野 恭太郎 氏

「富士ソフトの取組み」

富士ソフトは、2023年より生成AI活用の全社推進を行うための組織を立ち上げ、業務変革に取り組んでいます。Krugleの活用も含めた取り組み内容を紹介します。

◆日本システム開発株式会社 (17:05~17:40)

執行役員 組込み技術教育支援部部長 坂上 真市 氏

「ソフトウェア開発プロセスにおける下流工程の効率化に特化したKrugleプラットフォームの活用事例」

モノ作り関連企業では「セキュリティ面」と「バージョンアップ時の動作差分の解消」に、プライベートLLMの活用が始まっています。弊社では特にソフト開発の下流工程に於ける成果を狙い、Krugleプラットフォーム適用が始まっています。その取り組みと今後の展望についてお話しします。

17:40-17:50 閉会ご挨拶

18:00~ 懇親会

↓ ↓ ↓ お申し込みはこちらから ↓ ↓ ↓ お問い合わせはこちらまで ↓ ↓ ↓
<https://www.krugle.co.jp/apply/> minoru.aoki@krugle.co.jp (担当: 青木)